

タペット間隙の点検

タペット間隙が狂っていると、エンジン性能および騒音の原因となります。

点検は

1. クランクシャフトを回してスパークアドバンサ一の1・4 Tマークを合マークの刻印に合せたとき第1ピストン（車に乗った状態で左側から第1…第4です）圧縮上死点になるようにします
2. このとき下表の○印を点検し、狂いがあればシツクネスゲージ (IN0.05, EX0.08) でロックナットをゆるめ、アジャストスクリューで行ないます。さらにクランクシャフトを1回転させアドバンサ一の1・4 Tマークが再び合マークに合った時(第4ピストン上死点)×印を点検調整します

| | 第1 | 第2 | 第3 | 第4 |
|----|----|----|----|----|
| IN | ○ | × | ○ | × |
| EX | ○ | ○ | × | × |

- ロックナットを締付ける時、スクリューが動かないよう注意する。
- ロックナットを締付け後タペット間隙を確認する。

ホンダSFで点検しましょう。

